



低NOxで、黒煙もPMもほとんど排出せず、またCO2排出量も少ないので、地球温暖化防止にも貢献できるLPG車。スタンドも全国に約1900ヶ所あるなど、実用的なエコカーと言えます。⑨JAFの関東本部東京支部が導入したレッカー車もLPG。⑩農作業車、高所作業車など多彩な特装車にも対応可能だ。⑪NOx・PM法に適合しないディーゼルトラックのエンジンを、新長期規制対応のLPG車に変更したテスト車両。



都市ガスの原料でもある天然ガスを圧縮して利用するCNG自動車。ガソリン車よりCO2の発生が低く、黒煙も排出しない。現在国内で約3万台、世界では530万台以上が走っているという。⑫日本で最も多く走っているいすゞのエルフCNG-MPIと、⑬その佐川急便仕様。⑭日産ディーゼルの中型トラック、コンドルCNG。PRカーのコナン号もこのコンドルがベース。



ハイブリッドトラックは、日野といっしょからそれぞれ1台ずつ登場。⑮平成27年度燃費基準を達成し、新長期排出ガス規制をいち早くクリアした日野デュトロハイブリッド。ワイドビューピラー(⑰)＆ミラー(⑱)仕様の安全にも配慮したトラックだ。⑯いすゞのエルフハイブリッド。

もはや横浜の風物詩と言っても過言ではないだろう。本格的な夏到来を前に、今年も6月2、3日の両日、横浜赤レンガ倉庫広場で開催された「エコカーワールド2007」のことである。これは、6月の環境月間に合わせて毎年環境省、独立行政法人環境再生保全機構、横浜市が主催するイベントだが、今年も電気自動車から燃料電池車、天然ガス自動車、DME車、ハイブリッド車、低排出ガス車、LPガス自動車まで、さまざまなエコカーたちが一堂に会した。今年の出展車両は約70台。例年より若干少なかったものの、両日とも天候に恵まれ、さらにハマッコの物見高さも手伝ってか、2日間で約6万7000人がつめかけ、会場は大いに賑わった。



トップランナー基準を早期達成し、低排出ガス認定も受けている。低燃費かつ低排出ガス認定車。⑤尿素SCRシステムを採用した三菱ふそうのスーパーグレートトラック。⑥「尿素SCRシステムの先駆格」、日産ディーゼルの大型トラックQuonはUDテレマティクスを装着していた。⑦13年ぶりにフルモデルチェンジしたいすゞフォワードはエコカーワールド初登場。⑧そういえばこの新型エルフも初登場だ。



エコハマ

ECO CAR WORLD 2007

赤レンガ倉庫広場に
70台のエコカーが大集合!

エコ



DME (ジメチルエーテル) は、天然ガスや石炭ガス、バイオガス (メタンガス) などから合成される人工燃料で、どんな条件でも黒煙や微粒子を発生しないクリーンエネルギー。2008年7月には、新潟で燃料DME製造施設が、年間8万トンの製造プラントを建設するというが、そうならば今後の期待はさらに高まるだろう。①1充填走行距離約500kmの大型DMEトラック。②DMEの散水車 (東急車輛製)。③小型DMEトラック。④世界ではじめて実際の事業で使用しているクレーン付きDMEトラック。

